創立151年目のスタート「地域とともに未来を創る橘小学校」 学校キャラクター「たちばにゃん」



阿南市立橋小学校 学校だより No.13 令和7年7月18日 校長 上原 小代子





## 「輝け!橘っ子」通信

橘小学校ホーム

ページの QR コードです。

学校教育目標「ともに生きる力としなやかに伸びる力をもち、たくましく夢を追求する児童の育成」 めざす学校 「笑顔・あいさつ・思いやりがあふれる楽しい学校」

4月8日(火)から始まった前期前半が本日で終了し、明日から子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。 子どもたちに大きな事故や病気がなく、無事に夏休みを迎えられますのも、保護者の皆様や地域の皆様のご理解・ご 支援のおかげと、教職員一同深く感謝申し上げます。44日間の夏休みですが、今年の夏も大変暑くなりそうです。子 どもたちが熱中症等になることなく、毎日を元気よく過ごしてくれることを願っています。

## 夏休み前集会より

7月18日(金)の夏休み前集会では、子どもたちに夏休みの過ごし方として、二つのことについて話をさせていただきました。

一つ目は夏休みにしかできないことに挑戦してほしいということです。たとえば、虫取りや植物採集、植物や生き物を育てて観察する、町の風景を絵に描いてみる、毎朝散歩をしてみる、シリーズものの本を10巻全部読んでみる、のこぎりや金づちをつかった工作に挑戦してみる、毎日俳句を作ってみる、毎日お昼ご飯をつくってみるなど、時間がたっぷりある夏休みだからこそ、できることに挑戦してほしいと思います。私自身も小学生時代、父と一緒に昆虫採集に、母と一緒に植物採集や地元のお寺の研究に挑戦したことが今もよい思い出として残っています。とても楽しかったし、やり通したということで自分に大きな自信を持つことができました。ぜひ子どもたちにも、夏休みにしかできないことに挑戦してほしいと願っています。二つ目は、毎年夏休み前に伝えていることですが、頭と心と身体にしっかり栄養を与えてほしいということです。頭に栄養を与えるために読書を楽しむこと、身体に栄養を与えるために、朝・昼・晩と決められた時間に食事をしっかりとること、心に栄養を与えるために、家のお手伝いをしたり地域のおそうじに参加したりするなど、人のために働くことです。特に、人に喜んでもらえることをして、心を豊かに過ごしてほしいと願っています。

そのためには、命と健康を守ることが何よりも大切です。長い夏休みになりますが、保護者の皆様におかれましては、熱中症や感染症、交通事故や水難事故等のないようご留意いただき、お子様が有意義な日々を過ごせますよう、ご家庭でのご指導等、よろしくお願いいたします。



水に浮く野菜と沈む野菜。こんな不思議を見つけて調べてみてね。



「早寝早起き朝ご飯」、熱中症対策を して健康に過ごしてください。



パトカー、救急車に乗ることのないように、交通安全に気をつけてください。



「命と信用」をなくさない過ごし方をしてください。

## 着衣水泳

7月18日(金)の2校時、教育委員会スポーツ振興課より講師先生を迎え、5・6生が着衣水泳の学習をしました。体操服の上下を着て靴を履いたままでの背浮き、ペットボトルをもっての背浮きやライフジャケットを着用しての浮遊体験などに挑戦しました。子どもたちは真剣な表情で学び、いざというとき自分の命を守るために空気を含む身近なものを利用できること、ライフジャケットを着用するとより安全であることなどを学びました。

毎年夏休み中には、全国で水の事故により、多くの子 どもたちが命を落としています。学校では、川や海には 必ずお家の人と一緒に行くように指導しています。子ど もたちが安全に水辺の活動を楽しめるように、ご家庭で もご指導等よろしくお願いいたします。



ペットボトルを持って背浮き。



ライフジャケットでバックストローク

## トマトすくい

7月11日(金)、「育てたミニトマトを水に浮かべ、金魚すくいのようにすくって楽しもう」と2年生の子どもたちが「トマトすくい」を企画し、1年生を招待してくれました。熟れた赤いトマトや、まだ緑色のトマトを生が水槽の中に入れると、不思議なことに赤いトマトが浮かぶ、色のトマトは浮きます。てっきり全部のトマトが浮かぶと思っていた先生と子どもたち。先生はすかさず「どうしてかな?赤いトマトと緑のトマト、何がちがうのかな」「他の野菜はどうかな」と声をかけました。この日は、トマトすくいが目的だったので、疑問追究はそこで終わり、金魚すくい用のポイでトマトを何個もすくった子どもたちは大喜びでした。しかし、せっかくの疑問です。ぜひ、子どもたちにはこの不思議を夏休みに追究してほしいと思います。



じっくりねらいを定めてすくいます。



すくったトマトをほおばる子どもたち。